TDB

株式会社帝国データバンク
大宮支店
住所:さいたま市大宮区下町 1-45
TEL:048-643-2080（代表）
URL:http://www.tdb.co.jp/

特別企画：埼玉県内の「パナソニック」グループ下請け企業実態調査

パナソニック下請け先企業は県内に 1472 社
～うち 3 割強が直近業績で減収～

はじめに

日本を代表する総合家電メーカーであるパナソニックは 10 月 31 日、2013 年 3 月期連結業績予想を大幅に下方修正し、最終段階で 7650 億円もの巨額の赤字見通しを発表した。シャープに続き、家電大手の危機的状況が続くなか、県内の下請け企業への影響拡大が懸念される。

帝国データバンク大宮支店は、企業概要データベース COSMOS2（143 万社収録）の中から、パナソニックグループと直接、間接的に取引がある県内の下請け企業（一次下請け先、二次下請け先）を抽出し、社数、業種、売り上げ規模、従業員規模、直近業績推移について調査・分析した。

パナソニックグループの下請け企業の実態に関する調査は、今回が初めて。

◇ パナソニックグループとは、パナソニック本体ならびに、同社の 2011 年度有価証券報告書に記載がある主要国内連結子会社 32 社を調査対象とした。
◇ 抽出条件は、製造業・卸売業・サービス業の 3 業種（食品・繊維などパナソニックグループの本業と関連の薄い業態は除く）で、資本金 3 億円以下の企業（個人含む）を「下請け先」とした。
◇ パナソニックグループの複数企業と取引関係がある企業については「1 社」としてカウントした。
◇ 取引の有無、売上高、所在地は最新のものとしたが、弊社調査後に変動している可能性もある。

調査結果（要旨）

1. パナソニックグループの県内の下請け企業数は 1472 社で、都道府県別で全国 5 位。うち、一次下請け先が 209 社、二次下請け先が 1263 社。
2. 業種別では、一次は工業用樹脂製品製造が 5.3%、二次は金属プレス製品製造が 3.8%で最多。
3. 売り上げ規模では、一次、二次とも 1～10 億円未満が最多で 6 割前後を占める。10 億円未満は一次が 66.5%、二次が 78.1%と、二次下請け先における小規模企業の割合が多かった。
4. 従業員規模別では、一次、二次とも 10～100 人未満が最多。10 人未満は一次が 23.4%、二次が 39.5%と、二次下請け先における小規模企業の割合が多かった。
5. 直近の業績推移では、一次は 4 割弱、二次は 3 割強、全体では 3 割強が「減収企業」。

1．下請け企業、都府県別の概況～埼玉県は下請け企業数 1472 社で全国 5 位

パナソニックグループの「一次下請け先（仕入れ先）」は 6032 社、さらに一次下請け先と取引を行う「二次下請け先」は 2 万 5481 社を数えた。この結果、直接、間接に取引がある下請け企業の合計は全国で 3 万 1513 社にのぼり、同業のシャープグループ（1 万 1971 社）の約 2.6 倍に達することが判明した。今後のパナソニックグループの業績動向次第では、主要な設備のある道府県を中心に、各地の雇用にさらなる影響を及ぼしかねない。

都道府県別に一次、二次下請け先の合計の上位 10 都府県を挙げたのが右の表である。1 位は東京都の 7472 社、次いで大阪府の 6178 社、神奈川県の 2016 社、愛知県の 1943 社と続き、埼玉県は 1472 社で全国 5 位となった。

パナソニックグループ下請け企業都道府県別上位

順位	都道府県	社数合計	構成比（%）	一次下請け先	二次下請け先
1	東京都	7,472	23.7%	1,476	5,996
2	大阪府	6,178	19.6%	1,549	4,629
3	神奈川県	2,016	6.4%	429	1,587
4	愛知県	1,943	6.2%	259	1,684
5	埼玉県	1,472	4.7%	209	1,263
6	兵庫県	1,066	3.4%	242	824
7	京都府	988	3.1%	220	768
8	長野県	827	2.6%	90	737
9	静岡県	685	2.2%	75	610
10	群馬県	634	2.0%	161	473
	全国	31,513	－	6,032	25,481

2．業種細分類別～一次では工業用樹脂製品製造、二次では金属プレス製品製造が最多

業種細分類別に見ると、一次下請け先では工業用樹脂製品製造が11社（構成比5.3%）で最多。以下、その他電子部品製造が10社（同4.8%）、プリント回路製造、電気計測器製造、産業廃棄物収集運搬がそれぞれ6社（同2.9%）で続いた。

二次下請け先では、金属プレス製品製造が48社（同3.8%）で最多。以下、金型・同部品等製造が37社（同2.9%）、工業用樹脂製品製造が33社（同2.6%）で続いた。

一次下請け先業種細分類別

順位	業種細分類	社数	構成比（%）
1	工業用樹脂製品製造	11	5.3%
2	その他電子部品製造	10	4.8%
3	プリント回路製造	6	2.9%
	電気計測器製造	6	2.9%
	産業廃棄物収集運搬	6	2.9%
6	化学機械同装置製造	5	2.4%
	他産業機械装置製造	5	2.4%
	産業用電気機器卸	5	2.4%
9	金型・同部品等製造	4	1.9%
	精密機械器具卸	4	1.9%
	電気機械器具修理	4	1.9%
	労働者派遣業	4	1.9%

※構成比（%）は一次下請け先全体に占める割合

二次下請け先業種細分類別

順位	業種細分類	社数	構成比（%）
1	金属プレス製品製造	48	3.8%
2	金型・同部品等製造	37	2.9%
3	工業用樹脂製品製造	33	2.6%
4	産業用電気機器卸	32	2.5%
5	プリント回路製造	25	2.0%
6	機械同部品製造修理	24	1.9%
7	製缶板金業	23	1.8%
	機械工具卸	23	1.8%
9	化学機械同装置製造	21	1.7%
10	他電子応用装置製造	19	1.5%
	鉄鋼・同加工品卸	19	1.5%

※構成比（%）は二次下請け先全体に占める割合

3. 売り上げ規模別～一次、二次とも売り上げ規模の最多は 1～10 億円未満

2011 年度（2011 年 4 月期～2012 年 3 月期）の売り上げ規模を見てみると、一次下請け先では 1～10 億円未満が 123 社（構成比 58.9%）で最多。次いで 10～50 億円未満が 59 社（同 28.2%）、1 億円未満が 16 社（同 7.7%）で続いた。

二次下請け先でも最多は 1～10 億円未満で 788 社（同 62.4%）。次いで 10～50 億円未満が 235 社（同 18.6%）、1 億円未満が 199 社（同 15.8%）で続いた。10 億円未満で見ると、一次が 139 社（同 66.5%）、二次が 987 社（同 78.1%）となり、二次下請け先における小規模企業の占める割合が多かった。

一次下請け先売り上げ規模別

売り上げ規模	社数	構成比（%）
1億円未満	16	7.7%
1～10億円未満	123	58.9%
10～50億円未満	59	28.2%
50～100億円未満	7	3.3%
100～500億円未満	3	1.4%
ゼロ（未詳含む）	1	0.5%
合計	209	100.0%

二次下請け先売り上げ規模別

売り上げ規模	社数	構成比（%）
1億円未満	199	15.8%
1～10億円未満	788	62.4%
10～50億円未満	235	18.6%
50～100億円未満	24	1.9%
100～500億円未満	10	0.8%
500～1000億円未満	2	0.2%
ゼロ（未詳含む）	5	0.4%
合計	1,263	100.0%

4. 従業員規模別～一次、二次とも従業員規模の最多は 10～100 人未満

従業員規模で見てみると、一次下請け先では 10～100 人未満が 139 社（構成比 66.5%）で最多、以下、1～10 人未満が 45 社（同 21.5%）、100～1000 人未満が 21 社（同 10.0%）と続いた。二次下請け先でも 10～100 人未満が 711 社（同 56.3%）で最多。以下 1～10 人未満が 451 社（同 35.7%）、100～1000 人未満が 53 社（同 4.2%）と続いた。10 人未満で見ると、一次は 49 社（同 23.4%）、二次は 499 社（同 39.5%）で、売り上げ規模同様、二次下請け先における小規模企業が多数を占めるかたちとなった。

一次下請け先従業員規模別

従業員数規模	社数	構成比（%）
ゼロ	4	1.9%
1～10人未満	45	21.5%
10～100人未満	139	66.5%
100～1000人未満	21	10.0%
合計	209	100.0%

二次下請け先従業員規模別

従業員数規模	社数	構成比（%）
ゼロ	48	3.8%
1～10人未満	451	35.7%
10～100人未満	711	56.3%
100～1000人未満	53	4.2%
合計	1,263	100.0%

5. 直近業績推移～一次では 4 割弱、二次では 3 割強が「減収企業」

2011 年度（2011 年 4 月期～2012 年 3 月期）および 2010 年度の直近 2 期の業績推移を見てみると、2011 年度の売上高が前期を下回った「減収企業」は、一次下請け先では 83 社（構成比 39.7%）、二次下請け先では 411 社（同 32.5%）となった。

一方2011年度の売上高が前期を上回った「増収企業」は、一次下請け先では107社(同51.2%)、二次下請け先では681社（同53.9%）とともに半数超を占めた。

1次下請け先業績推移

業績比較	社数	構成比（%）
横ばい	15	7.2%
減収	83	39.7%
増収	107	51.2%
不明	4	1.9%
合計	209	100.0%

2次下請け先業績推移

業績比較	社数	構成比（%）
横ばい	147	11.6%
減収	411	32.5%
増収	681	53.9%
不明	24	1.9%
合計	1,263	100.0%

下請け先全体業績推移

業績比較	社数	構成比（%）
横ばい	162	11.0%
減収	494	33.6%
増収	788	53.5%
不明	28	1.9%
合計	1,472	100.0%

6. まとめ

大手電機メーカー各社の業績が悪化するなか、巨額の赤字見通しを公表したシャープ、パナソニックから直接、間接的に仕事を得ていた下請け企業への影響が顕在化している。今回同様の「シャープグループの下請け企業実態調査」(2012年10月30日発表)で判明したシャープグループの下請け企業は全国で1万1971社。うち、後に倒産に至った企業が8件判明している。

一方、今回のパナソニックグループ下請け先企業数は全国で3万1513社と、シャープグループの約2.6倍にのぼり、同グループの業績不振による影響はシャープ以上に多方面に及ぶことが予想される。実際、カタログや取扱説明書の印刷を行っていた蒼永印刷（株）（大阪市中央区、印刷業)が11月30日に大阪地裁より破産手続き開始決定を受けたほか、産業用ロボット等製造の(株)北白川製作所（宮城県白石市）が12月3日に仙台地裁へ民事再生法の適用を申請した。埼玉県内でも（株）プロセス・ラボ・ミクロン（川越市）が11月28日に東京地裁に民事再生法を申請するなど、法的申請に追い込まれた下請け先が発生している。いずれも主要取引先であるパナソニックの受注減少が主な要因だった。

製造業が多く拠点を構える埼玉県において、パナソニックグループ下請け企業数は全国5位。パナソニックグループの中でも不振を余儀なくされている薄型テレビや半導体関連事業などに関わる下請け企業への影響が懸念される。またパナソニックグループに限らず、業績悪化に苦しむ電機各社が一段とリストラを進めていくなかで、経営体力的にも、資金繰り的にも限界に達しつつある中小零細規模の下請け先の動向が注目されよう。

【内容に関する問い合わせ先】
株式会社帝国データバンク　大宮支店　担当:長森
TEL 048-643-2146　FAX 048-645-7578